

事業所自己評価

平成29年1月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別勉強室及び静養スペースがある
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		車椅子用のバリアフリー化はしていない
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			常時話し合いのできる場を設けている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	改善に向け可能な限り保護者の意向にそえるようにしていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	要望があれば公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後第三者による外部評価をうける予定
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			専門書(発達障害等の参考図書類)を整備し、勉強会を開いている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からのニーズを取り入れるため、支援経過報告を年2回行い、計画書に反映できるようにしている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			1年に1回(夏休期間中)社会面の発達、言語面の発達、視覚面の発達、身体面の発達、の調査を行っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子ども達の状況に応じ、話し合いを重視している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個々の子ども達の成長を考慮し、柔軟に対応できるようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			曜日毎に勉強・ダンス・音楽・図工等の芸術活動、長期休暇は豊かな体験ができるように多くの課外学習を取り入れるよう工夫している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成しているか	○			集団でのルールや協力等が学べるよういろいろなゲームを取り入れている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援内容や役割分担について確認しているか	○			スムーズに支援できるよう必ず確認をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			次の支援に生かすようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個々の記録を参考に児童・生徒理解を把握し、次の支援に生かすとともに、保護者との連携にも役立っている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを参考に支援計画の見直しを図っている
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	○			ガイドラインの確認をスタッフ間で共有している	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	まだ担当者会議に参画したことがない
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との情報共有や連絡調整は常時モレのないように対応している

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との関係	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	今のところ該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今のところ該当者なし	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今のところ該当者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今のところ連携なし	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童館の利用は考えている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加していない	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○				日常のことは毎回の送迎時に速やかに連絡できるようにしている また定期的に支援経過を報告し、共通理解を図っている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明をおこなっているか	○				保護者が理解できるように説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	○				保護者からの相談に関しては機を逃さず話し合う等、対処している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○		今まで苦情はないが、もしあった場合は適切に対応する予定
	34	定期的に会報を発行したり、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○		手書き等で連絡を入れていたが、今後ホームページがオープンしたら情報発信をする予定
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				電話・メール等で連絡をすることもある
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		地域の活動には参加する予定
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○		職員の研修教材として危機管理マニュアルを策定予定
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行なっているか	○				一時避難、広域避難場所への移動訓練を実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				勉強会をし、児童・生徒の人権を尊重し対応している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		今のところ該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				保護者との連携を密に対応中
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				「危ない」を感じたら即話し合い、アテンションシートを職員全員で共有し、ヒヤリハットを未然に防ぐ工夫をしている	